

# autumn special academy 花とピアノの饗宴

## 第I部

### 華道デモンストレーションと講演 「花と私と世界旅行」

※途中、ショパンのプログラムを予定しています。

西日本華道連盟理事長

## 片山 健



#### Profile

1962年草月流アトリエスタッフとなる。1966年より、勅使河原蒼風家元、露家元、宏家元に随行し、国内外へ。1971年 いけばな教室開校。1997年 作品集「縁」出版。1998年 大丸デパートにて個展。2017年 第11回いけばなインターナショナル世界大会委員長。2019年 G20福岡 財務大臣・中央銀行総裁会議ウエルカムレセプション迎え花担当。2021年 福岡市文化賞受賞。草月流本部講師として、本部講座・草月WEST・家元教室、担当。日本・アジア・アメリカ・東欧・オーストラリア・中国などでデモンストレーションや指導。デパート・ホテルなどでインスタレーションの制作。西日本華道連盟理事長／(一財)草月会理事／日本いけばな芸術協会特別参与 福岡市華道展副委員長／福岡文化連盟理事

## 第II部

### 花とピアノが織りなす時間

演奏

## 宮谷理香

#### Program

- ◎ バッハ：平均律クラヴィーア曲集 第1巻 第1番 前奏曲とフーガ BWV846 ハ長調
- ◎ ショスタコーヴィチ：24の前奏曲とフーガ Op.87より第1番 前奏曲とフーガ ハ長調
- ◎ フランク：前奏曲、コラールとフーガ ロ短調
- ◎ ラフマニノフ：前奏曲 Op.3-2 嬰ハ短調「鐘」
- ◎ ショパン：前奏曲集より 第20番～24番 Op.28-20～24

※曲目は当日変更になる場合があります。



目を奪われる美しい花々と  
音楽のコラボレーション。

#### Profile

© Akira Muto

1995年ショパン国際ピアノコンクール第5位入賞。翌96年にサントリーホール他全国11都市でデビュー。以来25年間、活発な演奏活動を展開。日本全国での公演は1000回を超える。ライブツィヒ弦楽四重奏団、ドビュッシー弦楽四重奏団、スロヴァキアフィル、ワルシャワフィル等と共演。国際交流基金の派遣ではポーランドとスペインの6都市で、またパリ、ウィーン、蘇州などにも招聘された。テレビ、ラジオ出演や執筆のほか、日生劇場制作の音楽劇にも度々出演し、多彩な才能を発揮。室内楽にも積極的に取り組んでいる。これまでに20枚のCDを発表。直近の14枚が連続してレコード芸術特選盤に選出。第23回日本ショパン協会賞他 受賞。曲種を鮮やかに生かす第一級のピアニズムと作品への非凡な親和力、気品と洗練の歌心で高い芸術性をもたらすピアニスト。

# 2021年11月21日(日)

1st Stage 開場 12:30 / 開演 13:00 (終演予定 15:00)  
2nd Stage 開場 15:30 / 開演 16:00 (終演予定 18:00)

本公演は2会公演となり、各回定員180名です。

[会場] 福岡市美術館ミュージアムホール 福岡市中央区大濠公園1-6 TEL 092-714-6051

[入場料] 全自由席 前売2,500円(税込) / 当日3,000円(税込)

[チケットのお求めは] ●チケットポート福岡パルコ店 092-235-7223 (福岡PARCO 本館5階)  
●ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード 83989)

[主催] 福岡アートミュージアムパートナーズ / 西日本華道連盟福岡支部 【後援】 西日本新聞社 / テレビ西日本 【協力】 ヤマハミュージックジャパン

西日本華道連盟福岡支部 13流派のご紹介



おはらりゅう  
小原流

小原流いけばなの表現方法にはデザインのないいけばなの「花意匠」創流当初からの「色彩盛花」「写景盛花」投げ入れ花を体系化した「瓶花」琳派絵画や文人花を背景とした「琳派調いけばな」「文人調いけばな」植物の立体美の表現である「花舞」「省略の美を表現する「小品花」等、多彩な表現方法があります。



いっそうりゅうへいか  
一草流瓶花

自然に育まれた草・花・樹のかもし出す「線的美、色彩の美」を形式にとらわれず花器と空間に調和させ、季節の風情と作者の個性を自由に表現できるよう研鑽を重ねております。



なつつかい  
いけばな那能津会

いけばな那能津会が追求してきた現代華は、花や木や様々な素材を用いながら、自然の美そのままを再現するのではなく、自然と造形が融合した新たな美を創造するいけばなです。花型にとらわれな自由な発想と感性で、自らの思いや感動を表現し、どのような空間にも美しく調和する作品を常に目指しています。



いけのぼう  
池坊

池坊には仏前供花をルーツに持ち室町期に成立した立花、町人文化華やかかり江戸中期に成立した生花、戦後の自由主義思想伸長の中で育まれた自由花と、3つの様式があります。それぞれ形は異なりますが、いずれにも通底するのは「枯れた花に華がある」という、生命の持つ全ての様相を貴ぶという考え方で。



しんせいりゅう  
真生流

真生流いけばなは、流祖・翠堂先生が得意とした線のみしや、無駄を廃した厳しい構成、明快優美な作風を特徴としています。そして何よりも、花を通して精神を高め、豊かな心から生まれるいけばなを目指しています。本当に生かされた、真心のこもった生命の躍動する花。それが真生流のいけばなです。



しんいけのぼう  
新池坊

初代家元の信念でもあり、遺言でもある「芸事は一部の人の指導になりだしたら、芸の幅は無くなる。集まった会員が皆で常に時代を捉えた新しい作品を切磋琢磨研究し、その成果を新しい会員に継承してゆく」との流是を大切に、古典的な作品から現代様式にあつた作品まで幅広くいけばなを研究しております。



せんりゅういけのぼう  
華道専正池坊

華道専正池坊は伝統を重んじる格調高い古典花(立華・生花)又、現代の生活様式に合わせ(新立華・新生花)、暮らして潤いをもたらす現代花(自然花・自由花・彩花・一枝一花)、色彩豊かなロイヤルフラワーアレンジメントと時代にそくした花形を学び、花との対話で心に癒しと安らぎを追求しています。



かげいあだちりゅう  
花芸安達流

花芸安達流は、自然の心を活かすことを目指しています。自然を「動き」で捉え、静なる作品に表現する姿勢です。植物の個々の生態から五つの様式(五態)に分類し、一瓶の中の素材一つ一つには担う役割があり、四季折々の自然感情を示す植物に、生活空間を考え合せ、生命の歌を無限に展開させたいと願っています。



りゅうせいは  
龍生派

龍生派には、古典華と自由花(現代花)の二つのいけばながあります。過去から引き継いだものを未来に伝える古典華、時代に合わせてあらゆる可能性を探る自由花。その両方を持ち、それぞれで個性の表現を目指しているのが龍生派の特徴と言えます。



そうげつりゅう  
草月流

いけばなは、いけた人の心の姿を映し出すもの。だから、「花は、私になる。」のです。いつでも、どこでも、誰にでも。そして、どんな素材でもいけることができる草月のいけばな。これまでも、これからも、今を見つめながら、植物のいのちを私たち一人ひとりの感性で、より美しく、花開かせてまいります。



せんしんいけのぼう  
専心池坊

専心池坊のいけばなは、格花としての格調高い立華・生花をはじめ、その現代的応用として新生花・植物の出生を生かした自然花・作者の個性を発揮する自由花・シンプルな美を追求した真花体・色彩豊かなフラワーアレンジメント等の幅広い花形を持つことです。



せいわごりゅう  
成和御流

四季折々に花との一期一会を大切にその出生を生かし、お生花を中心に、写景生花で景色を描き、盛り花や投げ入れて彩の美しさを、自由花として空間を演出します。又、もっと素敵に花と暮らしたいの思いから、インペリアルフラワーアレンジメントで、壁や卓上を飾り、貴方のフラワーインテリアをご提案します。



せいとくいけのぼう  
清徳池坊

日本のよき伝統文化いけばなを世界で360度対称に生け込む王冠をパーティー花として考案。現在も世界のいけばなを目指し日々独自の色彩感覚を生かして、新しい作品づくりに精進しています。

- 新型コロナウイルス感染拡大によって、定員等変更になることがあります。
- 来館時にはマスクの着用と手指の消毒にご協力願います。
- 未就学児のご入場はお断りします。
- 公演中止を除き、お買い求めのチケットのキャンセルや払い戻しはできません。
- 演奏中の入場退場はご遠慮ください。

【お問合せ】西日本華道連盟事務局 092-711-5491  
(西日本新聞イベントサービス内)

福岡市  
美術館  
交通案内

市営  
地下鉄

西鉄  
バス

空港線「大濠公園」駅下車 徒歩10分  
七隈線「六本松」駅下車 徒歩10分

系統番号13・140「福岡市美術館東口」下車 徒歩3分  
系統番号6・7・12・113・114・200・206・208「赤坂三丁目」下車 徒歩5分  
系統番号6-1「福岡城・NHK放送センター入口」下車 徒歩3分